

工事写真報告書

工事番号 平成 28 年度

工事名 S様邸

工事箇所 屋根・外壁・その他 塗装工事一式

工事住所 北九州市 小倉南区 山手

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

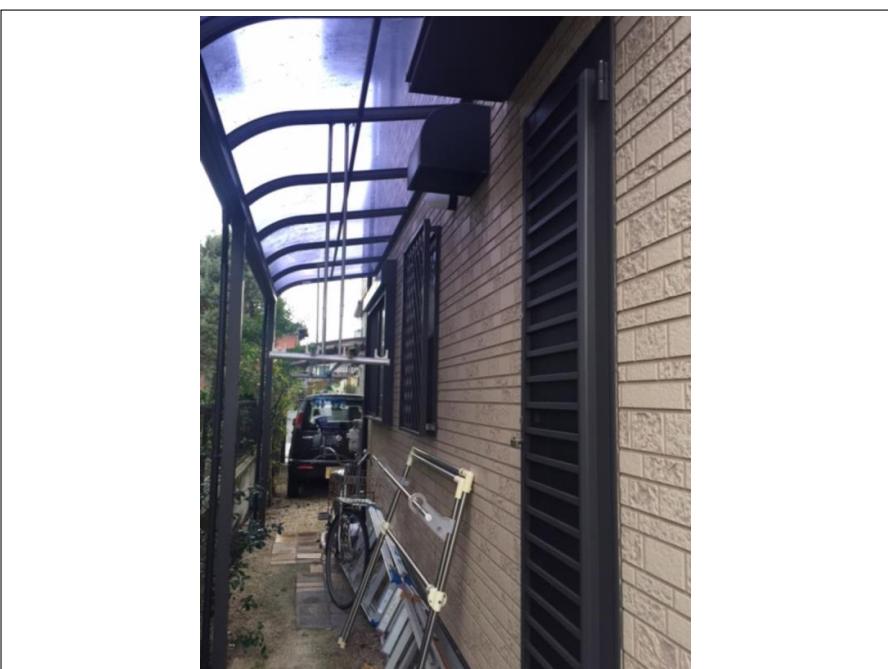
工事施工者 ベストホーム株式会社



外觀



外觀



外觀



外觀



外觀



外觀



屋根

この素材はセメント: アスベスト(又はハルフ 繊維)が85:15で作られています。

表面の塗装が新築当時はアクリル塗装を焼き付けており、7年ぐらい経過すると表面の防水効果が低下し、だんだん反りや割れが生じてきます。



屋根

劣化し割れや反りがひどくなり葺き替えとなると、アスベストが入っている場合、処分費がかなりかかりますので、早めの塗装と維持をお勧めします。



屋根

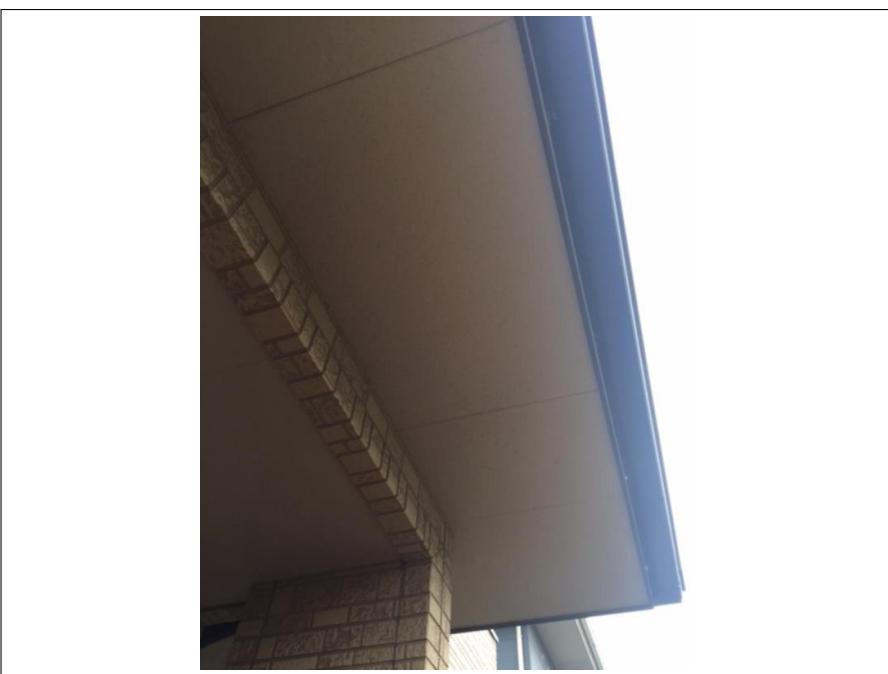
同上



破風板・鼻隠し

経年劣化しています。

劣化すると腐食、お住まいの痛みにつながりますので、下塗り・上塗りをおこないます。



軒天

経年劣化しております。

この部分は通気性の良い軒天専用の塗装をしていきます。



樋・ダクトカバー

こちらは塩ビ素材になります。

劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。



換気フード

この部分は鉄、スチール素材になります。

劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



小庇

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



シャッター・シャッターBOX

同上



土台水切り

同上



ベランダ

経年劣化しています。

劣化が進むと雨漏れの原因にもなりますので、雨漏れする前の保護塗装をお勧め致します。



チョーキング現象

紫外線などにより塗膜の表面が劣化し、チョークの粉状のような状態になっています。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。



外壁 現状

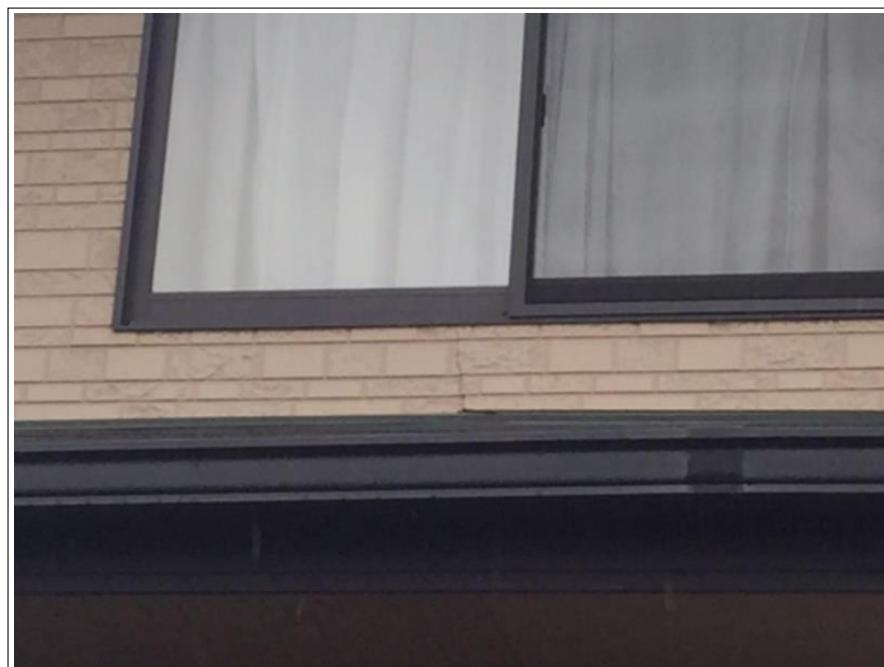
意匠性外壁になり、
単色施工では無くクリヤー施工をお
勧め致します。



外壁 クラック部

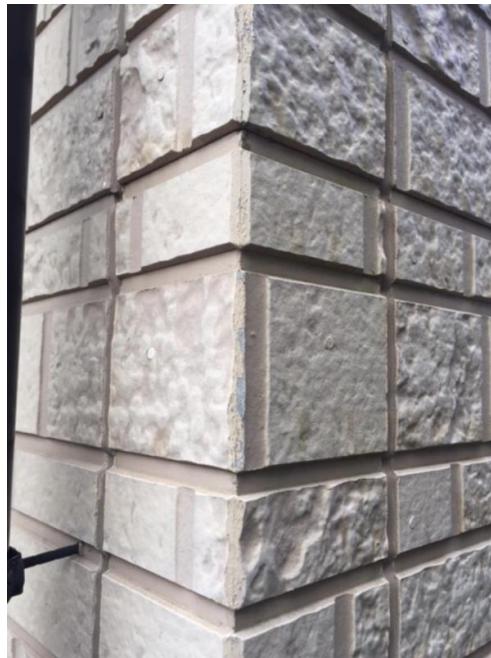
同上

※ クリヤーの場合はクラックは保
護できますが、クラック痕は見えま
す。



外壁 クラック部

同上



外壁 劣化部

現状のままのクリヤー施工となります。



外壁 ボードシーリング部

この部分はクリヤー塗装後、シーリングの打替えをおこないます。
また外壁塗装の耐久性に合わせて、
オートン化学のオートンサイディングシーラント又はイクシード15を
使用します。



外壁 ボードシーリング部

同上

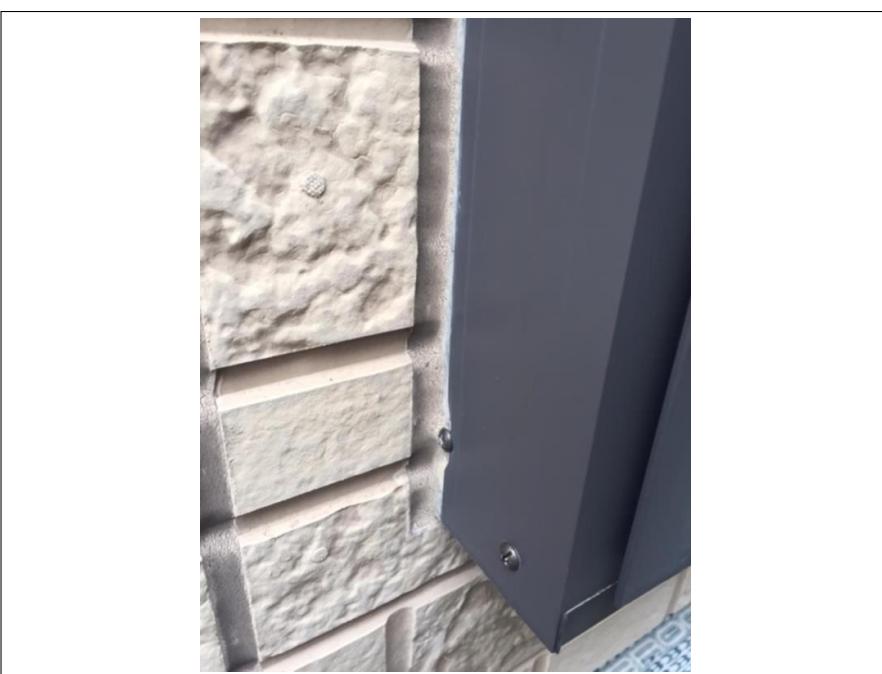


外壁 ボードシーリング部

同上

サッシ廻りシーリング部

こちらはシーリング材はボード部と同じものを使用しますが、工法は全面打増しになります。



作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

認定証明書

外装劣化診断士

認定番号：13100230

氏名 戸高 勇樹 様

外装劣化診断士認定試験の結果、基準を満たし合格したことを証します。

平成25年11月10日

外装劣化診断士 認定証



一般社団法人住宅保全推進協会

